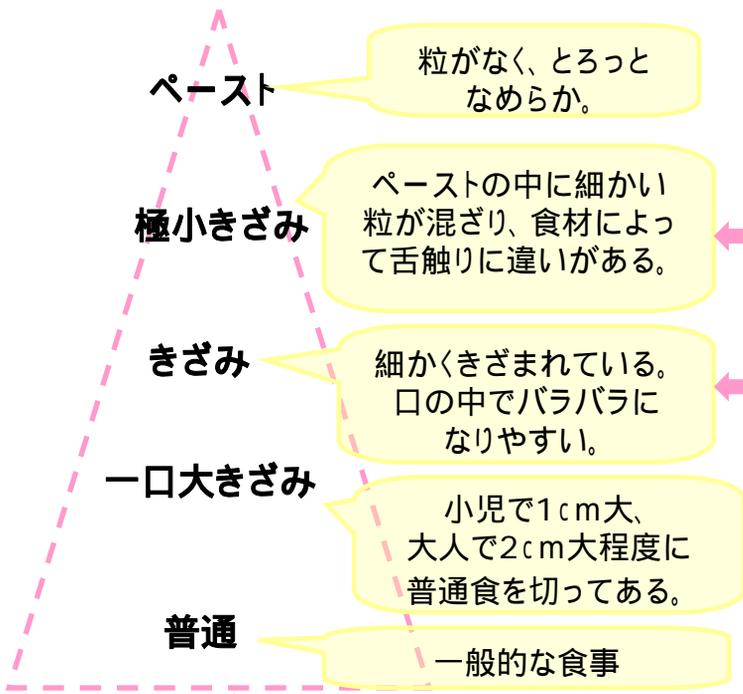


## 当センターの食事基準に新たにムース食が加わりました

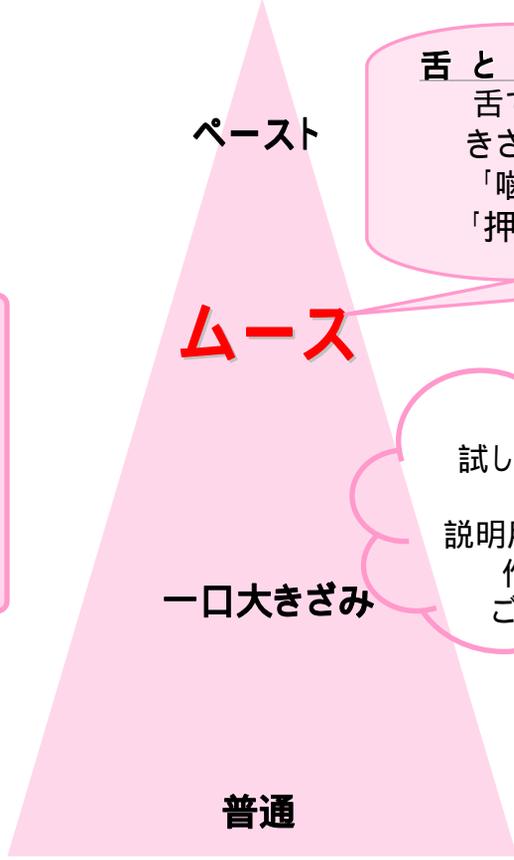
今まで



きざみ食は、きざむことで大きい食事を「小さく」した食形態です。  
 「嚥んで口の中でまとめる」機能がうまくいかない方には、きざみ食は口の中に散らばり、**ムセ・誤嚥・窒息のもと**となりやすい食形態です。

「あんかけ」を使って口の中でまとまりやすくする方法もありますが、あんがうまく食事にかからず、効果が低い場合もあります。

これから



**舌と上顎で押しつぶせる程度のかたさ**  
 舌でつぶした後に口の中でまとまりやすいので、きざみ食よりムセ・誤嚥・窒息のリスクが低く安全です。  
 「噛むこと」を習得するステップとして、「押しつぶし」の練習に最適な訓練食です。

まずは1品、試してもよいですね。  
 説明用にパンフレットを作成しました。ご活用ください。



**ムース食の例**  
 全粥(又はペースト粥)  
 豚肉のピカタ・キャベツ・トマト・切干大根煮

一口量が多すぎたり、流しこむような介助、舌でつぶれない練り物のようなかたさでは、**のどに詰まる危険が高くなります。**  
 口腔機能評価に基づいた、正しい食形態の判断、正しい介助技術を徹底してから始めましょう！！



\* 極小さざみ・きざみもオーダーできます

# CNS・CNからの情報



## 専門看護師（CNS）の役割（その12）：看護研究の倫理とは

小児看護専門看護師  
市原真穂  
PHS(787)

今や、研究をする際に避けては通れない『倫理審査』。  
皆さんの疑問に答えるべく、倫理審査の**本来の意義**を考えてみましょう。

**「研究に基づく実践こそが、*そのためには...* 専門職としての看護の証し」**  
(国際看護師協会:ICN)  
～ケアの受け手を対象とする研究により、  
質を向上することが看護職の責務です～

健康障害などによる**脆弱性**をもち、ケア提供者と受け手の  
関係性から、**断れない立場**にある研究対象者の、生命、  
健康、プライバシーを守り、尊厳および権利を尊重する。

研究成果がどのように貢献できるか先行研究を十分に吟  
味し、不必要あるいは不適切な研究により、**対象者に負  
担や不利益**を課してはいけません。

**第三者によって対象者に危害や不利益がないか  
権利が尊重されているか確認してもらう機会です**

### <参考文献>

社団法人 日本看護協会  
「看護研究における倫理指針」(2004)  
国際看護師協会  
「看護研究のための倫理指針」(2003)

市原の活動予定は下記の WebSite に公開しています  
<http://sites.google.com/site/mahoichihara/home/carender>

## 摂食・嚥下リンクナースは今年から7名に増えました

摂食・嚥下障害看護CN 青木ゆかり

摂食・嚥下の専門知識の学習に励むと同時に、所属病棟の「食事」に関する看護の質が向上  
するための活動に向けて努力中です。リンクナースをどんどん活用してください！



外来 鈴木亜由美さん  
毎週(火)(水)の摂食相談を  
担当。歯科医の摂食外来に  
も同席しています。



3C 子安浩子さん よりよい口腔ケアから  
摂食・嚥下機能の向上につなげます。



1BC 小嶋幸枝さん  
利用者様が安全においしく  
食べ続けられるよう食事の  
関わりを見直します。



2A 佐藤美久さん 退院後も継続できるよ  
うな具体的でわかりやすい指導を目指します。



2B母子 津島久美さん  
摂食嚥下機能が少しでも向  
上できるようにがんばります



3AB 鈴木奈津子さん  
三好さんとタッグを組ん  
で食べる機能の向上に  
向けた関わりや栄養評  
価をすすめます。



3AB 三好誠さん 摂食・嚥下に関するよりよ  
いケアを病棟全体で行えるように働きかけます。

## Wound(創傷)② 治癒過程からみた創傷管理の注意点

### 炎症期を早く完了させる

炎症期が終わらないと増殖期がこない。

### 感染と汚染を区別する

褥瘡周囲の正常皮膚に**発赤**があれば感染を疑う。

### 壊死組織が残存していないか注意する

壊死組織が残存していると感染しやすく、肉芽がでにくい。

### 炎症期と増殖期の境界を見極める

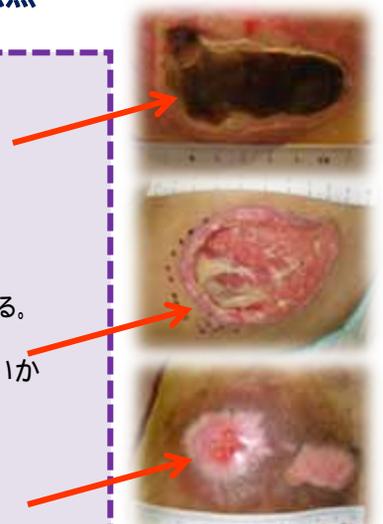
感染がなく壊死組織がない状態なら、増殖期の湿潤環境の処置に切り替える。

### 肉芽の色は良好か

肉芽が不良化したら原因を考える。感染が隠れていないか、血流障害がないか  
確認する。

### 上皮化は良好か

肉芽が創面まで増殖したら軟膏処置に切り替える。  
新生上皮は弱いので損傷に注意する。



皮膚・排泄ケアCN 室岡陽子(外来)